

埼玉親善大使レポート

December de 2016

加藤梨乃

12月初めに CEPE の語学学校の 2 学期目が終了致しました。一学期目より語学学校での授業の難易度が上がり、ついていくのに必死な授業もありましたが、メキシコ独特の表現や単語、メキシコの歴史や文化を理解できるようになっていくのが実感でき大変充実した学校生活を過ごしております。そしてこれから一か月ほどの初めての長期休暇があり、旅行に行く人、インターンシップをする人など、日墨生は様々な過ごし方をすることになると思います。今回のレポートでは 2 学期目に私が CEPE でどのような勉強をしたのか、そして 12 月のメキシコの伝統的イベントについてご紹介したいと思います。

CEPE での勉強

今回私は「文学から読み解くメキシコを中心としたラテンアメリカの歴史、その国の成り立ち」についての授業を履修しました。その文学というものがかなり前のものから最近のものまであり、読解には大変苦労しましたが、授業で先生が丁寧に解説して下さるのでついていけないということはありませんでした。日本の大学でラテンアメリカの歴史や文化は学んでこなかった私にとって、語学学校で基礎から外国人留学生向けに解説してくれる授業があるのは CEPE のメリットだと思います。他にはコミュニケーションの授業も取ったのですが、この授業が私の会話力を向上させてくれました。そして様々な国の留学生と自国の文化の紹介などをしあうことで他の国の知識も増え、また友達も増えるなど、今回の学期は勉学以外の面でも有意義な学校生活を送れたと思っております。

12月のイベント、クリスマスの祝い方

クリスマスと言えば12月24日、25日に家族や友人、また恋人と過ごすイメージがあると思いますが、メキシコでは家族と過ごすのが一般的で、毎年12月16日から既にクリスマスの行事が始まります。というのもイエス・キリストの両親であるマリアとホセが、出産のための場所を見つけるための旅にでていた期間であると言われているクリスマス前の9日間（毎年12月16～24日まで）をお祝いするからです。この行事はPosada（ポサダ）と言われ、この期間にピニャータというお菓子やフルーツの入ったくす玉をつり下げて、目隠しをした人がそのくす玉を割る、日本でいうスイカ割りのような遊びも行われます。写真がそのピニャータの典型的な形です。



このクリスマス期間中で、メキシコ人は行事一つ一つをととても大切にすると実感しました。2017年度も勉学に励みつつ、メキシコの様々な行事を通して、メキシコの文化について学び発信していけたらと思っております。